

子ども食堂
×
鷺宮高校



学校行事で作る予定だったマドレーヌが、コロナ禍で提供できなくなり寄付している様子。左から、町田美味さん、小田凜々花さん、池田梨桜さん

「娘があんまりおいしそうにほおぼるので思わず写真を撮りました!」「買ったものかと思うくらいとってもおいしかった」と喜びの声が続々と。「この機会に食材を無駄にせず食べてもらえて嬉しかったです。こういった活動に参加できてとても良かったです!」(町田さん)



広がりは始めた 高校生の支援の輪

食品ロス削減に向けてできることを一
今、市内の高校生が有志でさまざまな行動を
起こしています。

斉藤千莉さん(左)、吉田翠月さん(右)



コンビニなどで、日頃から廃棄される食品を見てきた吉田さん。「ボランティアはとても楽しくて、色んなことに挑戦したい気持ちが高まりました」(吉田さん)

子ども食堂
×
久喜北陽高校



幼稚園の先生という夢があり、子どもの貧困について調べていた斉藤さん。「今まで貧困はどこか遠い世界の話だと思っていました。少しでも行動に移す人が増えたら…1人の力はちょっとでも、それが40人になればその力は40倍に。つまり困っている人に「助かる」と思ってもらえる気持ちも40倍に増えると思うんです」(斉藤さん)